

【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド3号

償還時報告

標記ファンドはこのたび償還を迎えましたので、償還時報告を以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額 : JPY 6,150,000.-  
うちローン貸付額(円貨) : JPY 6,150,000.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日 : 2016年9月14日  
グループ会社貸付金額 : EUR 53,664.92  
適用直物 EURJPY レート : 114.60  
適用先物 EURJPY レート : 112.45  
グループ会社貸付期間(ローン実行当初予定) : 2016年9月14日から2019年8月25日  
資金運用日数(ローン実行当初予定) : 1,075日  
グループ会社貸付金利(年利) : 13.25%

===運用終了時の状況===

累計実現グループ会社返済利息額 : EUR 5,626.88  
グループ会社返済未払い利息残高 : EUR 4,596.10  
累計実現元利金返済額 : EUR 59,291.80  
累計グループ会社負担外為両替手数料 : EUR 2.33  
累計出資者返済原資 : EUR 59,294.13  
適用直物 EURJPY 平均レート : 111.49  
累計円貨換算出資者返済原資 : JPY 6,610,549.-  
営業者報酬 : JPY 443,167.-  
累計分配金額 : JPY 6,167,382.-  
ファンドの実現利回り : 0.2% (期間: 2016年9月14日~2022年8月31日)  
募集時表面利回り : 9.6% (期間: 2016年9月14日~2019年8月31日)

### 【本ファンドの概要】

本ファンドは Fellow Finance Oyj（以下、「Fellow 社」といいます。）が運営する P2P レンディングマーケットプレイス（以下、「Fellow 社 P2P」といいます。）を通じてフィンランドの個人向けローンに投資するファンドとしてクラウドクレジット株式会社（以下、「本営業者」といいます。）が運用を開始しました。しかし、2021 年 12 月期において、本営業者のエストニア子会社である Crowdfund Estonia OÜ（以下、「エストニアグループ会社」といいます。）が Fellow 社 P2P で購入したローンをすべて Fellow 社へ売却しましたので、2022 年 1 月期以降の運用対象は Bondora AS が運営する P2P レンディングマーケットプレイス（以下、「Bondora 社 P2P」といいます。）を通じて購入したローンのみとなります。

### 【本ファンドの概要（補足）：Bondora 社 P2P への参画時期と参画の経緯について】

本ファンドは 2016 年 9 月に Bondora 社 P2P を通じてエストニア・フィンランド・スペインの個人向けローンの購入を開始しました。その背景には、本ファンドの運用開始後に本営業者以外の投資家が Fellow 社 P2P へ多数参入したことがあります。流入資金の増加によって Fellow 社 P2P の金利水準が低下するとともに債務者の借換えが生じ、一方では債務者の質が低下して貸付期間が長期化しました。その結果、本ファンドの投資対象とできる個人向けローン案件を Fellow 社 P2P 上で探すことが難しくなったため Bondora 社 P2P を通じた購入を開始しました。

しかしながら、さらにその後で Bondora 社 P2P への資金流入が増加し、Fellow 社 P2P と同様に利回りの低下と貸付期間の長期化が生じました。

### 【2017 年 2 月期における分配方針の変更】

2017 年 2 月期以降、本ファンドが投資対象とするローン市場における利率低下、および長期化を伴う借換の増加の影響を受け、本ファンドは利息収入の低下と滞留資金の増加が避けられない状況となり、設定当初に見込んでいた利息収入を受け取ることができなくなったため、配当可能な現金財産を各号ごとに按分処理したうえで、投資家の皆様に分配することといたしました。

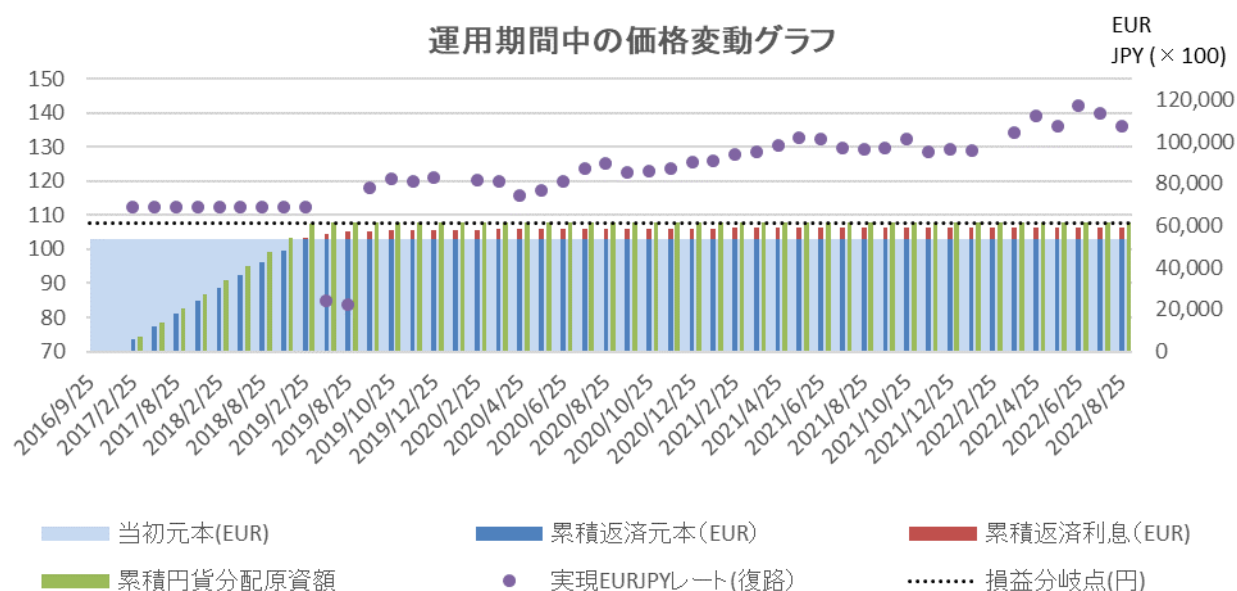
なお、同月期以降は原則として、エストニアグループ会社が本営業者に対して元本を優先して返済し、本ファンドの出資金をすべて返還したうえで財産が残ることを見込める場合にのみ利息を返済する方針としました。

### 【償還に至る経緯の説明】

本ファンドを含む、本ファンドシリーズの一部（北欧個人向けローンファンド 1 号、5 号、6 号および【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド 1 号～4 号）につきましては、出資金をすべて返還するめどが立ったため、エストニアグループ会社が元本の返済を中断して利息の返済を再開しました。それとともに、本営業者が元本に対応する出資金の返還を停止して運用益の分配を再開しました。一方で本営業者は、匿名組合契約に従って、累積した未収受の運用手数料を運用益から控除したため、結果的に、一定の期間にわたって分配金のお支払いがございませんでした。

2022年6月期、本営業者は以下の諸点を検討してファンドの運用および分配の方針を変更し、エストニアグループ会社が本営業者へ元本を返済することを認めるとともに、本営業者が出資金の返還を再開しました。その結果として、本ファンドは当月期に償還を迎えます。

- 本営業者が未收受の運用手数料が、十分に大きな金額に達したこと
- 一方で、ファンド財産から期待できる将来の回収金額は僅少であり、仮に今後もエストニアグループ会社が利息の返済を続けてもその総額が本営業者の未收受運用手数料に満たないこと
- 上記2点を踏まえると、エストニアグループ会社が本営業者へ元本を返済しない限り、投資家の皆様に分配金を還元できる蓋然性が皆無だと判断できること



なお、本ファンドに関する出資金については、金融商品取引業等に関する内閣府令第125条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、本営業者の固有財産その他本営業者の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行いました。

投資家の皆様におかれましては、当初に予定した運用期間を大きく上回る長期間に渡って本ファンドにご投資いただき結果になりました。その間、ご心配やご面倒をおかけすることが多々あったことと存じますが、本営業者業務に対してひとかたならぬご理解をいただいたことに心より感謝申し上げます。今後とも本営業者の取扱うファンドにご愛顧を賜えますと幸いです、何卒よろしくお願い申し上げます。

**会社概要（クラウドクレジット株式会社）**
**【代表者】** 杉山智行

**【設立年月】** 2013年1月

**【資本金等】** 3,148,886千円

**【URL】** <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2021年12月末現在・単位：千円)	1,000	13,924,060	13,939,753	△ 15,692	1,749,015	60	617	547
Crowdcredit Estonia OÜ (2021年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	108,182,360	107,524,536	657,824	12,663,766	2,194	△ 17,708	△ 17,708
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2021年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,899,282	16,336,670	562,612	1,926,201	△ 418,142	△ 413,478	△ 415,833

※会計期間(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の金額を記載しております。